

石田タニヤ 母親。明治四十一年九月廿一日新山縣生れ、昭和十八年四月廿八日歿（一九〇九—一九三〇）。新山縣西村伊作の長女。文化學院卒。同級數員とともに、動物學者石田寅（じ）一郎の妻始。父死後文化學院選科就任。

『人間の來た道』（昭和十九年五月）、「雄鷹新書」（昭和十九年五月）、『W・ハウエルズ著「人間の來た道」人類學入门』（石田周）、『井澤、昭和十九年五月、『人間の來た道』（雄鷹新書）』、『政治と文化、昭和十九年五月、『人間の來た道』（雄鷹新書）』（昭和十九年五月）、『昭和十九年五月、『人間の來た道』（雄鷹新書）』、『昭和十九年五月、『人間の來た道』（雄鷹新書）』等。

文獻、上段の二書は作成者の娘（タニヤ）『人間の來た道』（昭和十九年五月）、『人間の來た道』（昭和十九年五月）等。

